

まつかげひがし
松蔭東遺跡
 (岩船郡神林村大字牧目字松蔭1292ほか)

松蔭東遺跡は、日本海東北自動車道建設に伴い、平成18年4月から発掘調査を行っています。遺跡は海岸砂丘と牧目集落の存在する自然堤防にはさまれた沖積地に位置し、遺構確認面の標高は、約1.4mを測ります。今回の調査では、古代・中世の遺構・遺物が見つかっています。なお本遺跡の北東約200mには、主に15～16世紀の遺構・遺物が検出され、色部氏が居住した可能性も指摘されている牧目館跡が存在しています。

発見された遺構は、掘立柱建物1棟・井戸2基・溝・ピットなどです。掘立柱建物と井戸1基は近接して検出されていますが、共に遺物を伴っておらず、詳しい時期は判明していません。ただし周辺で古代の遺物がやや集中する傾向がみられることから、その時代の遺構である可能性も考えられます。またもう1基の井戸は、遺物は伴いませんでしたが、中世と考えられる遺構群の中に存在していることから、中世に属すると考えられます。またピットには礎板の存在するものも見られることから、建物を構成していたものも含まれていると考えられます。

包含層が削平されていたため、遺物は耕作土中から出土しています。遺物の時期は古代～近世であり、中でも古代及び中世が主体です。古代の遺物は須恵器・土師器です。中世の遺物は青磁・白磁・染付け・天目茶碗・珠洲焼・越前焼・瀬戸美濃焼や銭貨などです。青磁・白磁・染付け・天目茶碗は当時高級品であり、銭貨とともに中国から持ち込まれたものと考えられます。

本遺跡は、試掘調査の結果から本年度調査区の東側に集落の中心があると推定され、今回遺跡の外縁部を調査しているものと思われます。特に中世の遺構は、隣接した牧目館跡と関連したものと推定されます。

(加藤建設(株) 青木 学)



SE10完掘状況(西から)

埋文インフォメーション

第13回遺跡発掘調査報告会開催のお知らせ

第13回遺跡発掘調査報告会を下記により開催いたします。今回は当事業団が平成17年度に発掘調査した遺跡のうち6遺跡について、スライドを使った調査報告を行います。また、この6遺跡を含む13遺跡について出土品及び写真パネルの展示・解説を行います。なお、当日は胎内市教育委員会の発掘調査報告及び出土品の展示・解説もあります。

事前の申し込みは不要です。皆様のご来場をお待ちしております。

日時 8月6日(日)

会場 胎内市産業文化会館(JR中条駅下車徒歩20分、駐車場200台)

日程 9:00～ 開場

10:30～12:00 遺跡発掘調査報告(胎内市教育委員会)

展示解説 第1回12:30～/第2回13:00～

13:45～15:45 遺跡発掘調査報告(野地、道下、西部、現明嶽、上野東、狐宮)

* 詳細は当事業団ホームページをご覧ください。

